

第38回 岡大サイエンスカフェ



まちづくりと景観保全 ～鞆の浦埋立架橋事業計画をめぐる～

講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科（法）
准教授 高橋 正徳

古くから指折りの景勝地として知られる鞆の浦（広島県福山市）の埋立架橋計画が1983年に策定されて以来、この計画への賛否をめぐる、地元では意見が真っ向から対立し、この問題は裁判でも争われ、裁判所は2009年、景観利益を認め、原告勝訴の判決を下しました（控訴）。その後、この問題は新たな局面を迎え、判決直後に就任した現在の広島県知事が、「住民協議会」の結果をふまえて、昨年（2012年）、埋立架橋計画の撤回を表明し、新たなまちづくり案を提案し、現在、地元との調整を進めています。

ここでは、鞆の浦埋立架橋計画問題を素材に、地方分権改革との関わり、鞆のまちづくりをめぐる合意形成手法のあり方、さらには鞆の世界遺産登録の可能性などについて検討することにより、主として法的な観点から、まちづくりと景観保全との関係について考えてみたいと思います。



参加者募集

- ◆開催日時
平成25年8月23日（金） 午後6:00～7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.net/renkei/contents/04_04.html
氏名・年齢・連絡先・車で来られる方は明記ください
※できるだけ公共交通機関をご利用ください
- ◆締め切り
平成25年8月20日（火） 午後5時
- ◆参加費
無料（飲みもの含む）
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 野木・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております
社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも